1月　いるかぐみ　クラスだよ

発行：令和8年・1月１５日　担当：佐喜真 吉乃

新年あけましておめでとうございます。
新しい年を迎え、友達や先生達と再会できた喜びから、「普天間神宮にいったよ」「お年玉たくさんもらった」と休みの出来事を嬉しそうに話しをする姿がみられました。今年はいるか組さんにとっては、卒園・小学校就学と大きく変化のある年になりますね。年長児としてすごす園生活も残りわずかとなりましたが、“すべてウマくいく♪”年となれるよう子ども達の成長を見守り、一日一日を大切にしながらすごしていきたいです。

新年会

新年会では、園長先生、副園長先生と新年の挨拶をし、抱負『今年がんばってみたいこと』を聞きました。「一年生になってお勉強がんばりたい」「ロフトの高い所に登れるようになりたい」とそれぞれの思いを発表してくれました。　背筋をピンとのばし緊張した表情もありましたが、キラキラ輝く眼差しに成長を感じました。実り多い一年であるよう担任も援助していきます。

七草集会

セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ・春の七草。1月7日は七草の日。春の七草をいれたおかゆを食べ、無病息災を願う習慣です。集会では、七草を実際にみせ、リズムにあわせ子ども達と七草を覚え、食べる意味を知りました。釜で炊いた七草がゆは、ふっくらおいしく、こどもたちも「おいしい♪」とよく食べていました。1月は鏡開き・ムーチーと伝統食にふれ、その意味を知り自分たちが住んでいる地域の食の文化の、意味を知り味わう経験をしていきたいです。

スターフルーツたくさんとれました

職員の自宅にたくさんのスターフルーツが実り、子ども達にも収穫をさせたい！との思いから、急遽スターフルーツをとりにお出かけしました。実際にスターフルーツを食べたことがない子たちが多かったこともあり、事前に写真やパソコンで果物を調べいざ出発！たくさん実っているのを見て夢中になって収穫していました。袋いっぱいの果実をもって園に戻った後は、グループにわかれて、「グループみんなで何個スターフルーツをとったのか数えてね」との声に、最初は「私は〇個」「僕は〇個あるよ」と自分の取った数を言っていた子どもたち。「自分が取った数ではなくてグループみんなのスターフルーツは何個かな？」と根気強く声かけ、最初は数えるのに戸惑っていた子ども達も話をしながら何度も考え1つのグループがみんなのフルーツを中央に集め並べて数え始めました。「先生！みんなのあわせたら〇個あったよ」と、嬉しそうに発表すると、周りのグループも真似をし始めみんなで協力し数え始めていました。総合計はなんと369個。収穫だけでなく、たくさんの気付きと経験をすることができました。

並べたらかぞえやすいかも。。

移行保育が始まります！

移行保育が2月2日から始まります。①挨拶をする　②時間を守る　③持ち物の管理・整理整頓　④話をしっかり聞く。この４つのことを意識する姿がみられるよう様々な場面での援助の仕方を工夫していきたいと思います担任の人数が減ったり担任以外の保育教諭が入ることもあり環境の変化で不安になることもあると思います。お子様に変わったことがあったり気になることがあれば担任にお声かけ下さい。
詳細は、後日パピーナにて連絡を行います。確認をよろしくお願いします

みんなでつくりあげたクリスマス会❤

クリスマス会では、去年のいるかぐみのように出し物をしたいとの声に、子ども会議を何度も行い内容をきめていきました。鉄琴をつかった演奏や、ハンドベル、手作りドラムでの演奏、ペープサートと内容はもりだくさん♪
どうやったら見ている人たちが楽しい気持ちになってくれるかな？こんな踊りにしようと、意見を出し合いました。 舞台の壁面も、どこからみても大きくみえるようにしたいということから発表会の劇遊びに使ったちぎり絵にしよう！との声が上がりいるかぐみみんなで作りあげました。

ハンドベルでジングルベルの演奏をしました。今回は和音にも挑戦。ベルの鳴らし方を工夫して長い音、短い音を意識して演奏していました。すごい！！

鉄琴でのきらきら星の演奏。朝の登園時毎朝0．1歳児の部屋にある鉄琴遊びをしていたAさん。きらきら星が演奏できるようになり、クリスマス会で発表しました。練習をしていると3歳児のお友達も集まり一緒に演奏を楽しみました。

あわてんぼうのサンタクロースを**ペープサート**で発表しました。乳児クラスのお友達も喜んでくれました。CDの音楽にあわせて絵を出すのを何度も練習し、本番は緊張しながらも見事成功！

手作りドラムの演奏

Rさんのお父さんがドラムをしていることから、先生ドラムを使って演奏したい→ドラム園にないけどどうする？→（子ども達）段ボールでできるはずよ。との話から、動画を検索したり、みんなで話し合いながら手作りドラムを作りました！！どうやったら本物のようにみえるか。何度も試行錯誤をしていました。完成した際には、みんな「できた！」と達成感を感じているようでした。指揮者やダンス隊、先生たちも一緒に演奏を楽しみました。